

平成 31 年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

## 若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

### 当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。  
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2019年6月15日(土) 13時～15時 会場 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

### 2. 本日のプログラム

13時～15時 本人交流会

### 3. 当日の様子

参加者数 16人（内訳：当事者 5名、家族 7名、専門職 4名）

### 4. 様子

当事者グループの方の作業の場としてご利用頂きました。今月は名刺入れの作成を行ないました。新しく夫婦で参加された方も楽しく型紙を切る・貼る作業に挑戦されていました。

「一緒に雪が見たい」と今年の3月に県外旅行をされたご夫婦を、県外でサポートして頂いた支援者の方が名古屋から本日のカフェに参加され、ご夫婦と久しぶりにご対面。旅行の思い出を回想しながら、家族が当事者と一緒に体験できる事を、できる時を逃さずに挑戦する大切さを実感されていました。

また他の方の近況報告では、介護者側の体調管理について…介護者が体調を崩して救急外来受診した体験を通して「介護うつ」にならないよう1人で抱え込まない、無理はしないこと、支援者に「助けて」と言える事も大切という事を皆さんへ伝えられていました。意外と介護の生活に慣れると、介護者は自身の体調や大変さの度合いが薄れていきます。介護者が倒れては大変です。

これから暑い夏がやってきますが、体調管理・熱中症等に気をつけていきましょう！



次回：令和元年7月20日 13時～15時 以上